



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月5日

上場会社名 武蔵精密工業株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7220 URL <https://www.musashi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大塚 浩史
 問合せ先責任者 (役職名) 財務副責任者 (氏名) 松田 宏樹 TEL 0532-25-8111
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無： 有
 決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	83,076	△6.6	3,808	△4.4	3,339	△22.7	1,666	△43.3
2025年3月期第1四半期	88,941	7.9	3,985	73.0	4,322	68.3	2,939	65.4

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △86百万円 (—%) 2025年3月期第1四半期 9,857百万円 (△25.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	25.43	—
2025年3月期第1四半期	44.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	287,340	122,263	39.3	1,722.44
2025年3月期	285,126	123,969	40.2	1,751.52

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 112,853百万円 2025年3月期 114,761百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	330,000	△5.0	21,000	6.5	18,500	2.9	11,000	41.3	167.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 有

新規 1社（ムサシエナジーソリューションズ ノースアメリカ・インコーポレーテッド）、除外 1社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期1Q	65,556,761株	2025年3月期	65,556,761株
2026年3月期1Q	37,255株	2025年3月期	35,825株
2026年3月期1Q	65,519,967株	2025年3月期1Q	65,485,783株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(未適用の会計基準等)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2025年4月1日~2025年6月30日)の世界経済は、緩やかな回復基調で推移しました。しかし、保護主義的な動きに伴う関税の応酬や国際情勢の不確実性の高まりを背景に、全体としては成長が鈍化しています。米国では、堅調な労働市場に支えられ景気は底堅く推移しましたが、追加関税などの通商政策が与える影響に注視が必要です。欧州では製造業の低迷が続き、景気回復の足取りは重くなっています。中国経済は、政府の景気刺激策による下支えはあるものの、不動産市況の調整が継続し、回復ペースは緩慢です。

自動車業界は、電動化戦略の転換点を迎えています。主要市場での補助金政策の見直しなどによりBEV(電気自動車)に対する需要の伸びは鈍化が見られています。一方で、HEV(ハイブリッド車)への需要が世界的に再拡大しています。加えて、米国など一部の国・地域では輸入車や電動車関連部品への関税が引き上げられました。これを受け、OEMメーカーの間では、市場ニーズへの対応と生産・供給体制の最適化を図るため、BEV、HEV、PHEV(プラグインハイブリッド車)を含む多様なポートフォリオの再構築が進んでいます。

当社グループは、地政学的リスクや関税政策の変更に対応するため、経営基盤の強化に取り組んでいます。本年4月には、“もうひとつのムサシづくり”の実現に向け、Cx0(チーフオフィサー)と地域CEOによる執行役員体制へ移行しました。これにより、意思決定の迅速化を図り、事業環境の変化への対応力を高めます。コア事業では、主力製品のデファレンシャルアセンブリをはじめ、BEVやHEVに適用される部品の受注が堅調に推移しています。

新規事業領域では、Energy Solution事業において、AIデータセンター向けに需要が急拡大しているハイブリッドスーパーキャパシタ(HSC)の増産体制の構築を進めています。e-Mobility事業では、ケニアに続き、エチオピアでの2輪EV普及に向けた取り組みが経済産業省の「グローバルサウス未来志向型共創等事業」に採択され、新興国市場での事業展開を推進しています。

このような状況において、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は83,076百万円(前年同期比6.6%減)となりました。利益面では、連結営業利益は3,808百万円(同4.4%減)となりました。連結経常利益は3,339百万円(同22.7%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,666百万円(同43.3%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

(日本)

販売は堅調に推移しましたが、Energy Solution事業への先行投資費用が嵩み、売上高は9,515百万円(前年同期比4.2%増)、セグメント利益は341百万円(前年同期比55.9%減)となりました。

(米州)

昨年から引き続き好調に推移しましたが、為替の影響もあり、売上高は27,228百万円(同0.3%減)、セグメント利益は1,390百万円(同1.1%増)となりました。

(アジア)

2輪車向け販売は堅調に推移しましたが、為替の影響もあり、売上高は18,236百万円(同6.7%減)、セグメント利益は1,730百万円(同14.7%減)となりました。

(中国)

日系の自動車販売の低迷は継続する中、徹底した費用管理により、売上高は6,516百万円(同10.6%減)、セグメント利益は32百万円(前年同期は234百万円の損失)となりました。

(欧州)

自動車市場全般が低迷する中、引き続きコスト管理などの改善施策を推進した結果、売上高は21,578百万円(同15.9%減)、セグメント利益は295百万円(1.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前期末に比べて2,214百万円増加し、287,340百万円となりました。

流動資産は、前期末に比べて2,554百万円増加し、149,462百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加によるものです。

固定資産は、前期末に比べて340百万円減少し、137,877百万円となりました。主な要因は、退職給付に係る資産の取崩しによるものです。

負債は、前期末に比べて3,920百万円増加し、165,076百万円となりました。主な要因は、短期借入金の増加によるものです。

非支配株主持分を含めた純資産は、前期末に比べて1,706百万円減少し、122,263百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,849	38,039
受取手形及び売掛金	51,033	46,707
商品及び製品	11,518	12,940
仕掛品	11,059	11,134
原材料及び貯蔵品	31,018	30,985
その他	9,052	10,501
貸倒引当金	△622	△845
流動資産合計	146,908	149,462
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	61,072	61,020
減価償却累計額	△34,864	△35,239
減損損失累計額	△4	△4
建物及び構築物(純額)	26,203	25,775
機械装置及び運搬具	307,774	307,172
減価償却累計額	△245,664	△247,110
減損損失累計額	△514	△523
機械装置及び運搬具(純額)	61,595	59,538
工具、器具及び備品	18,511	18,574
減価償却累計額	△14,126	△14,203
工具、器具及び備品(純額)	4,384	4,371
土地	9,860	9,854
建設仮勘定	9,171	12,696
有形固定資産合計	111,216	112,235
無形固定資産		
のれん	815	758
顧客関連資産	1,541	1,485
ソフトウェア	784	779
ソフトウェア仮勘定	7	7
その他	509	493
無形固定資産合計	3,658	3,523
投資その他の資産		
投資有価証券	13,135	13,354
出資金	1,528	1,477
長期貸付金	154	155
退職給付に係る資産	661	—
繰延税金資産	4,179	3,683
その他	3,729	3,482
貸倒引当金	△45	△36
投資その他の資産合計	23,343	22,118
固定資産合計	138,218	137,877
資産合計	285,126	287,340

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,342	21,464
短期借入金	35,940	41,697
1年内返済予定の長期借入金	10,852	10,544
未払金	5,926	4,864
未払費用	9,253	9,696
未払法人税等	2,069	1,467
賞与引当金	2,824	2,390
役員賞与引当金	61	74
製品保証引当金	37	37
債務保証損失引当金	200	200
訴訟損失引当金	162	339
その他	5,367	7,499
流動負債合計	95,038	100,277
固定負債		
長期借入金	49,996	49,133
繰延税金負債	5,233	4,596
退職給付に係る負債	8,247	8,425
その他	2,640	2,644
固定負債合計	66,117	64,799
負債合計	161,156	165,076
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,639	5,639
資本剰余金	37	37
利益剰余金	93,157	93,197
自己株式	△8	△8
株主資本合計	98,826	98,865
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,221	3,311
為替換算調整勘定	12,350	10,809
退職給付に係る調整累計額	362	△134
その他の包括利益累計額合計	15,935	13,987
非支配株主持分	9,208	9,410
純資産合計	123,969	122,263
負債純資産合計	285,126	287,340

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	88,941	83,076
売上原価	76,248	70,905
売上総利益	12,693	12,170
販売費及び一般管理費	8,708	8,361
営業利益	3,985	3,808
営業外収益		
受取利息	153	133
受取配当金	230	199
為替差益	333	—
受取補償金	13	0
その他	407	101
営業外収益合計	1,139	434
営業外費用		
支払利息	659	512
投資有価証券評価損	14	3
持分法による投資損失	16	26
貸倒引当金繰入額	—	230
為替差損	—	12
その他	113	118
営業外費用合計	802	903
経常利益	4,322	3,339
特別利益		
固定資産売却益	15	12
退職給付制度終了益	—	25
特別利益合計	15	37
特別損失		
固定資産売却損	0	3
固定資産除却損	16	6
訴訟損失引当金繰入額	—	165
特別損失合計	16	175
税金等調整前四半期純利益	4,320	3,201
法人税等	1,177	1,316
四半期純利益	3,143	1,885
非支配株主に帰属する四半期純利益	204	219
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,939	1,666

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	3,143	1,885
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△251	89
為替換算調整勘定	7,054	△1,569
退職給付に係る調整額	△14	△490
持分法適用会社に対する持分相当額	△75	△2
その他の包括利益合計	6,713	△1,972
四半期包括利益	9,857	△86
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,358	△281
非支配株主に係る四半期包括利益	498	194

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間より、新たに設立したムサシエナジーソリューションズ ノースアメリカ・インコーポレーテッドを連結の範囲に含めております。

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、決算日が2月28日であった連結子会社武蔵ワイヤード株式会社は、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更しております。これに伴い、当該連結子会社の2025年3月1日から2025年3月31日までの損益について利益剰余金の増減として調整しています。この変更による連結財務諸表に与える影響は軽微です。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用について、当社及び国内連結子会社は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(未適用の会計基準等)

- ・「リースに関する会計基準」(企業会計基準第34号 2024年9月13日 企業会計基準委員会)
 - ・「リースに関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第33号 2024年9月13日 企業会計基準委員会)
- 等

(1) 概要

企業会計基準委員会において、日本基準を国際的に整合性のあるものとする取組みの一環として、借手の全てのリースについて資産及び負債を認識するリースに関する会計基準の開発に向けて、国際的な会計基準を踏まえた検討が行われ、基本的な方針として、IFRS第16号の単一の会計処理モデルを基礎とするものの、IFRS第16号の全ての定めを採り入れるのではなく、主要な定めのみを採り入れることにより、簡素で利便性が高く、かつ、IFRS第16号の定めを個別財務諸表に用いても、基本的に修正が不要となることを目指したリース会計基準等が公表されました。

借手の会計処理として、借手のリースの費用配分の方法については、IFRS第16号と同様に、リースがファイナンス・リースであるかオペレーティング・リースであるかにかかわらず、全てのリースについて使用権資産に係る減価償却費及びリース負債に係る利息相当額を計上する単一の会計処理モデルが適用されます。

(2) 適用予定日

2028年3月期の期首から適用します。

(3) 当該会計基準等の適用による影響

「リースに関する会計基準」等の適用による連結財務諸表に与える影響額については、現時点で評価中でありませ

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	4,985百万円	4,282百万円
のれん償却額	39	57

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米州	アジア	中国	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計 上額(注) 2
売上高								
外部顧客への売上高	9,130	27,318	19,554	7,292	25,645	88,941	—	88,941
セグメント間の 内部売上高又は振替高	6,459	269	1,714	769	596	9,809	△9,809	—
計	15,590	27,588	21,269	8,062	26,241	98,751	△9,809	88,941
セグメント利益 又は損失(△)	774	1,374	2,029	△234	292	4,236	△250	3,985

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△250百万円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「日本」セグメントにおいて、2024年4月26日に、武蔵ワイヤード株式会社(旧会社名 株式会社ワイヤード)の株式を60%取得いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、353百万円であります。なお、のれんの金額は、識別可能な資産及び負債の特定並びに時価の算定と取得原価の配分が完了しており、確定された金額です。

II 当第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米州	アジア	中国	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計 上額(注) 2
売上高								
外部顧客への売上高	9,515	27,228	18,236	6,516	21,578	83,076	—	83,076
セグメント間の 内部売上高又は振替高	7,527	11	1,509	886	351	10,287	△10,287	—
計	17,043	27,239	19,745	7,403	21,930	93,363	△10,287	83,076
セグメント利益	341	1,390	1,730	32	295	3,790	17	3,808

(注) 1. セグメント利益の調整額17百万円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	米州	アジア	中国	欧州	合計
本田技研工業株式会社 及びその関係会社	5,272	21,515	13,831	2,593	—	43,213
その他グローバルカスタマー	3,857	5,803	5,723	4,699	25,645	45,728
顧客との契約から生じる収益	9,130	27,318	19,554	7,292	25,645	88,941
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,130	27,318	19,554	7,292	25,645	88,941

当第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	米州	アジア	中国	欧州	合計
本田技研工業株式会社 及びその関係会社	5,205	21,574	12,869	2,082	—	41,732
その他グローバルカスタマー	4,310	5,653	5,367	4,434	21,578	41,343
顧客との契約から生じる収益	9,515	27,228	18,236	6,516	21,578	83,076
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,515	27,228	18,236	6,516	21,578	83,076

(重要な後発事象)

該当事項はありません。